

# よしみ 議会だより

2009  
第116号  
吉見町議会  
2月1日発行  
編集  
議会だより編集委員会  
比企郡吉見町下細谷411  
TEL 0493(54)1511



平成21年吉見町成人式（平成21年1月11日 フレサよしみ）

## 12月定例議会

### 3月定例議会

3月2日(月)  
から開催される予定です。

- 一般会計補正予算など可決 … P 2
- 一般質問に7名登壇 … P 3～6
- 一部事務組合報告 … P 7
- 常任委員会視察研修報告 … P 8～9
- 議会日誌、編集後記 … P 10

平成20年12月定例議会

一般会計補正予算など10件の議案を可決

12月定例議会は、12月9日から11日までの3日間の会期で行なわれました。

今定例議会では、町長から提出された「一般会計補正予算」、「吉見町国民健康保険条例の一部を改正する条例」など、8議案の審議が行なわれ、すべて原案のとおり可決されました。

一般質問については、7名の議員が登壇し、町政全般について活発な議論が展開されました。

また、議員提出議案の発議2件が審議され、原案のとおり可決されました。

議案審議結果

町長提出議案

Table with 4 columns: 議案番号, 件名, 審議結果. Lists 10 items including budget amendments and ordinance changes.

議員提出議案

Table with 4 columns: 発議番号, 件名, 審議結果. Lists 2 items regarding council rules.

＜主な議案の内容＞

■吉見町国民健康保険条例の一部を改正する条例

産科医療補償制度の創設に伴い、出産育児一時金の支給額を35万円から38万円に増額するものです。

■平成20年度吉見町一般会計補正予算（第3号）

既定の予算総額に歳入歳出それぞれ4,173万4千円を追加し、予算の総額を58億9,133万円とするものです。

主な歳入として—

- 地方交付税142万4千円は、再算定に伴う追加交付によるものです。
●国庫支出金・民生費国庫負担金918万1千円は、障害者自立支援給付費負担金の実績見込みによるものです。
●国庫補助金・社会福祉費補助金698万3千円は、障害者の地域生活支援事業に対し、交付されるものです。
●県補助金・総務費県補助金6万9千円は、自主防犯パトロール支援事業に対するものです。
●民生費県補助金851万4千円は、重度心身障害者医療費補助金、地域生活支援事業費補助金、放課後児童健全育成事業費補助金などです。
●商工費県補助金390万円は、地域づくり提案事業補助金です。
主な歳出として—
●道路照明灯の電気料70万円、道路照明灯、カーブミラー等の交通安全施設設置工事157万5千円
●障害児（者）生活サポート事業運営費補助金266万円、重度心身障害者医療支給費838万円、障害者自立支援給付費1,836万2千円
●側溝、路肩、防護柵等の修繕料200万円
●渡戸樋管電気設備修繕料210万円
●防災無線修繕料166万6千円 などであります。

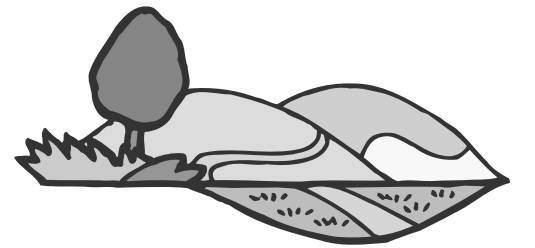
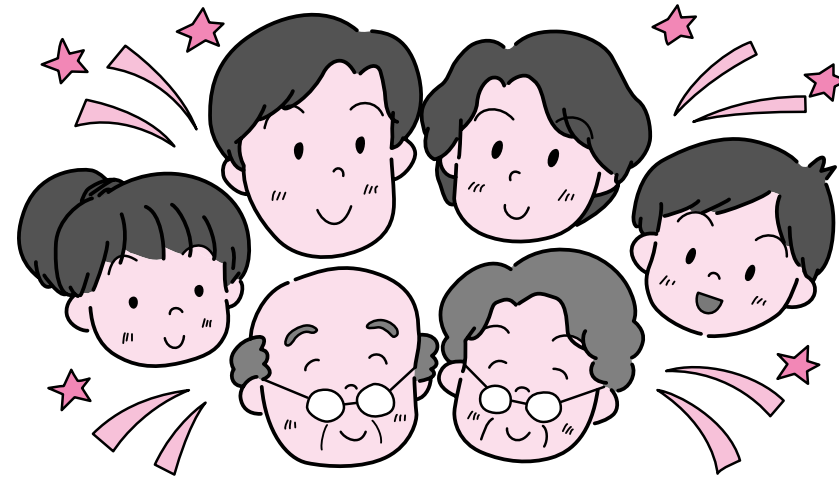
■吉見町議会会議規則の一部を改正する規則

議会活動の範囲を明確化するための地方自治法の一部改正に伴い、「全員協議会」を正規の議会活動とするものです。

町政に対する一般質問

そこが聞きたい

こうしてほしい



吉見町の町章と水を取り巻く環境は 尾崎 豊 議員

問 吉見町の町章は昭和29年に設定されていますが町章の役割は。

答 町章は、町を象徴する公のマークであり町民としての一体感や、愛着をはぐくむためにも大変に重要なものだと考えます。

問 町章は町旗を始め、多くの場面で使用されていますが使用上の取り決めは。

答 使用規定等はないが取り扱いに当っては、尊厳と品位を損なわれないよう十分に配慮します。

問 私達を取り巻く環境の中で水は、生活にかかせない大切なものです。吉見町の水道事業の推移は。

答 昭和46年に給水を開始、37年が経過、3回にわたる拡張事業を実施し、3万人の町民に供給出来る施設となっています。

問 非常時の給水方法について。

答 町内3か所の配水場からの給水と、埼玉県吉見浄水場との協力体制を確立し、災害発生時における応急給水を可能といたします。



久米田配水場

問 現行の吉見八景の設定についてと、歴史ある吉見八景の見直しについての取り組みは。

答 昭和60年に選定し、八景の普及を目的に絵はがきを作成し販売してきています。今後の予定として新たな名所や史跡を含めた吉見の新しい景色、新景を選定していくことになっています。

問 今後の設定について。

答 吉見町コミュニティづくり推進協議会の、企画部会で検討を進めています。出来れば、町の新景について今年度中に設定していきたいと考えています。

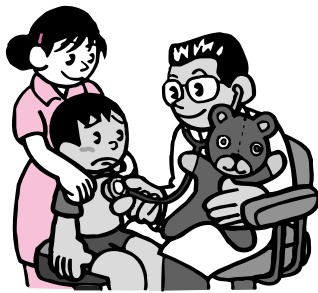
### 子ども医療費の窓口払い廃止について

公明党 安孫子和子 議員

**問** 廃止した場合の国保のペナルティ、事務委託料及びシステム改修等の影響額の試算は。

**答** 昨年度国保の子ども医療費は1,630万円ほどで、仮に昨年度廃止していた場合、国費、県費の補助は130万円程度減額され、近隣の状況ではシステム改修に約1千万円、事務委託料に年間約163万円。その他システム保守点検料が必要です。

**問** 平成19年度の子ども医療費の予算、決算からすれば、財政的体力はあると思うが。



**答** 子ども医療費は、保護者だけに負担をさせるのではなく、町みんなで負担するとの考えのもとに実施しており、手間はかかるが窓口払いすることで、町民みんなで負担していることを認識してもらおうことが、大変大事だと思う。川島町や東松山市で廃止しても、町は窓口払いを続けるべき考え方で。

**問** 妊婦健診の無料化について。国の新経済対策には、14回分の健診費用（基礎健診部分）の無料化が盛り込まれているが、町の取り組みは。

**答** 国の補助が予定されているのが、平成22年度までで、23年度以降の財源や詳細が決定されていないので、今後、国の動向を注視していきます。

**問** 経済対策に盛り込まれている2年間の町の対応は。償還払いなら来年度から実施できると思うが。

**答** 今の時点では未定です。将来を見すえた上で、健診制度は設計していく必要があります。

**問** 防犯灯、道路照明灯の維持管理費は、地方自治法施行令では、前金払いできるとある。経費節減を。

**答** 前払いすれば割引きになるので、調査研究し、経費の節減に努めます。

そこからの被害者の有無については再確認をします。

**問** 特定健診、特定保健指導いわゆるメタボについて町民の関心と反応に対する町の見解は。



健診の様子

**答** 関心は高いと感じました。結果の送付が遅いと課題もあります。制度の目的に沿った取り組みをしていきます。

**問** 全国学力テストの公表についての見解を伺う。

**答** テストの主旨は理解しているが、公表の考えはありません。

**問** 今年度及び新年度の町税収の予想と見込みは、また機構改革を踏まえ今後事業展開をどう図るのか。

**答** 今年度は見込通りだが、来年度は税収の伸びは見込めないと予想。本旨に基づく機構改革で投資的事業の活用が図られています。更なる努力をいたしたい。

### 英知の改革で税収の確保を

公明党 長島 茂 議員

**問** 町内農地の中で放棄地の割合と、荒れてしまった農地や今後荒廃が懸念される農地への支援や活用の考えは。

**答** 8月1日調査に基づき荒地、保全管理、耕作地の分類がされています。JA等関係機関と協力し荒地の活用、解消計画、まとめその推進に努めます。

**問** バイオ燃料の原材料の中には、荒地解消の一端となり得る作物があるが考えは。

**答** バイオ燃料は温暖化抑止として重要と認識しています。荒地解消を含めて検討を、このことについては研究してまいります。

**問** 健康被害者の救済と国は石綿を使用した業者の調査公表を示した石綿健康被害救済法が施行された。認識と対応はいかがか。

**答** 対象、保障など救済枠がより拡大されたものと認識しています。更なるお知らせをまいります。また町には対象となる業者がおりますので

### 大地震災害と住民サービスの機能について

神田 隆 議員

**問** 住宅耐震化についての考えは。

**答** 耐震化につきましては、今年度取り組みの地震ハザードマップを作成し啓発に、また埼玉県等で実施している無料診断の周知に努めてまいります。

**問** 土砂災害防止法についての町の考えは。

**答** 土砂災害から国民の生命・身体を守ることが、大前提でございます。町では、地域防災計画において、町内の土砂災害危険箇所として急傾斜地38箇所を記載しております。今後、県の調査・判定結果を受けて地域防災計画に基づき、危険箇所について、緊急時の対応策等を講じてまいります。

**問** 災害時要援護者の対策については。

**答** 吉見町地域防災計画において、高齢者、乳幼児、傷病者、障害者、外国人の方々の安全確保計画が策定されております。具体的には、災害時要

援護者リストの作成及び関係者間での共有、避難誘導體制、避難者の受け入れ態勢の整備等でございます。現在、民生委員さんが中心となり、災害要援護者の調査に取り組んでいただいております。

**問** 地域防災計画に基づくマニュアルについては。

**答** 町では、本年3月の地域防災計画の策定以来、地域防災計画に基づく職員初動体制マニュアル等の作成に取り組んでまいりました。地域防災計画における各分野の活動に対応したマニュアルを27種類整備いたしました。今後も見直し、また作成に取り組んでまいります。

**問** 職員の非常時参集訓練は。

**答** 11月14日早朝、課長等管理職員が参集し、災害対策本部設置訓練を行ないました。



平成20年度の防災訓練

### こんにちは赤ちゃん事業について、道州制について

宮崎雄一 議員

**問** 子育て支援事業の一環で、本年度からこんにちは赤ちゃん事業を実施していますが、その経過と実績について。

**答** この事業は、生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問してさまざまな支援を行なう



こんにちは赤ちゃん事業を支える母子愛育会の総会

ことによって、乳児家庭と地域社会を結びつける機会とするものであります。今年4月から11月までの出生者が74人で母子愛育会による訪問が25人、保健師の訪問が32人、未訪問が12人、転出が5人でした。4か月以降も1歳になるまで、毎月訪問を続け未訪問12人も連絡をとって訪問する予定です。

**問** ふれあい広場400mトラックと芝生との段差が5cmから10cmあるが、問題はないか。

**答** グラウンドゴルフで使用する場合段差の部分を越えて競技しますが、選手は走らないため危険性はほとんどないと思われれます。

**問** 道州制について。道州制とは現行の都道府県を大括りの道や州に再編するという構想であり、国県基礎自治体の将来はどうあるべきかという創造的発展の視点から、最近にわかに議論が活発に行なわれております。地方制度調査会や道州制ビジョン懇談会等が答申や中間報告を行なっております。道州制についての町の見解は。

**答** 現状では、都道府県制の廃止と道州制の必要性を明確にすることなどが求められておりますが、昨年7月には、第29次地方制度調査会も設置され議論されておりますので、これらの動向を見たいと考えております。

### 介護保険の保険料について

日本共産党 杉田しのぶ 議員

**問** 町では現在、第4期の事業計画に向けて委員会も開かれ保険料も含めた検討が進められている。第3期では基準となる第4段階で保険料が1,204円引き上げとなった。同時に国の税制改定の影響で保険料が上がる人に対して「激変緩和措置」がとられていたが、この措置も平成20年度をもって終了する。これにより少なくとも400名を超える方が保険料の引き上げとなる。今年度4月から後期高齢者医療制度が始まり、国民健康保険税も引き上げられた。またこれまで税制改定により住民税も引き上げられ、非課税世帯だった方が課税世帯となることで、介護保険料や利用料の助成、国保では入院時の食事代や高額医療費の自己負担限度額など医療や介護の分野においてかなりの負担増となっている。日々生活するために食費を切り詰めたり、必要な治療を制限したり、必要な介護を減らしたり、外出や近所づき合いを減らしたりと健康状態の維持や社会関係の構築にも大きな影響をもたらしている。この

ような実態の中で現在検討されている保険料の改定、引き下げが難しくとも据え置きを行ない、所得が少ない方への減免制度の創設も検討するべきではないか。町長の見解を伺いたい。



介護予防施設「悠友館」

**答** 介護を受ける方が増えれば給付費が増える。それをだれが負担するんだといったときに、公平にみんなで負担をしていくのが原則である。

現在一般会計から繰り入れも行っており、今後その額を増やすかどうかについても、当然検討の材料としていかなければならないだろうと考えている。

その他、臨時職員の処遇改善、保育園のトイレの改修、障害者控除の認定基準について質問しました。

しつつ創造する、「継承と創造」を政治姿勢とし、第四次吉見町総合振興計画に則して総合事務事業に取り組んでまいりました。

総合振興計画に沿って申し上げますと「安全で快適なまちづくり」では、防災や防犯の分野で、時代に対応した事業が進み、「活力あるまちづくり」では、農業関連の基盤整備を中心に、上下水道や幹線道路の整備に大きな成果が見られました。また「笑顔のまちづくり」では、健康や福祉に関する支援制度が拡充されております。更に、「薫り高い文化のまちづくり」では、教育施設などの整備が進むと共に、町民会館などの施設がボランティアの方々により育まれながら、効果的な運営がなされております。

町の将来像と吉見町町民憲章の基本理念の下、着実な成果を挙げる事が出来たものと考えております。

**問** 今後の取り組みについて。

**答** 今後も、さらに大きな成果に結びつけるため、計画性・持続性を持って事業を進めると共に、多様な行政課題を解決すべく努力を重ね「生活基盤、産業基盤の整備・充実」と「安全・安心・人づくり」を施策の柱に据え、町民皆様と共に、吉見町の躍進に全力を傾注してまいります。

### 今後の町政運営について

小柳幸一郎 議員

**問** 町長は就任時、「継承と創造」を政治姿勢として掲げ、町政を運営してきました。就任から現在までの、「継承と創造についての評価と課題」について。

**答** 私は、就任以来、今日まで、先人が心血を注いでこられた諸事業を受け継ぎつつ、社会の変化に柔軟に、迅速に対応すること、すなわち、継承



工事が進む北小学校屋内運動場

## 一部事務組合報告

### 埼玉中部環境保全組合議会定例会

柳谷 泉議員

期日 平成20年10月22日 午前9時から

場所 埼玉中部環境センター会議室

吉見町議会から、内野正美副議長、小柳幸一郎議員、岩崎勤議員、柳谷泉の4名が出席いたしました。

はじめに、管理者から事務の執行状況及び運転状況の報告がありました。その概要を報告します。

平成20年4月から9月末までの上期のごみ処理量は、2万964.48トンで、前年比161.41トン0.76%の減であります。

次に施設整備検討委員会については、これまで2度の先進地視察を含め、8回の委員会が開催され、現在、まとめの段階とのことであります。

また、付議された議案は6議案及び発議1件です。○議案第13号 専決処分承認を求めることについて

○議案第14号 専決処分承認を求めることについて

○議案第15号 埼玉中部環境保全組合人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例

○議案第16号 平成20年度埼玉中部環境保全組合一般会計補正予算（第一号）について

○議案第17号 平成19年度埼玉中部環境保全組合一般会計決算認定について

○議案第18号 埼玉中部環境保全組合監査委員の選任同意について

○発議第1号 埼玉中部環境保全組合議会会議規則の一部を改正する規則の提出について

以上が上程された議案ですが、慎重審議のうえ、原案のとおり承認、可決されました。

### 北本地区衛生組合議会定例会

安孫子和子議員

期日 平成20年11月5日 午前9時から

場所 北本地区衛生組合議場

吉見町議会から、杉田しのぶ議員、宮崎雄一議員、安孫子和子の3名が出席いたしました。

処理状況 — 平成20年9月までの前年比の動向は、北本市、菖蒲町の順で増加し、鴻巣市、吉見町の順で減少。総体的には170.20kl (0.77%)の減少、吉見町は16.64kl (0.37%)減少しています。

○議案第9号 専決処分の承認を求めることについて 本案は地方自治法の一部改正に伴い、北本地区衛生組合議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の字句の整理を行なうものです。

○議案第10号 平成20年度北本地区衛生組合歳入歳出補正予算（第1号） 本案は歳入歳出それぞれ5,770万円を追加し、歳入歳出予算の総額を5億3,410万6千円とするものです。

主な歳入は、原油価格高騰に伴い、重油燃料費及び電気料金等が不足するため市町負担金の増額、また、重油から天然ガスへ転換工事するため、財政調整基金から繰り入れるので、増額補正するものです。

主な歳出は、環境への負荷の軽減及び燃料費のコストダウンを図るためのガス燃料転換工事費と燃料費、電気料金等の不足額を増額補正するものです。

○議提第1号 北本地区衛生組合議会会議規則の一部改正について 本案は地方自治法の一部改正に伴い、議員の派遣の根拠規定の項ずれが生じたため、提案されました。

以上、上程されました3議案は、慎重審議の結果、原案のとおり承認、可決されました。

町議会を傍聴してみませんか



次の議会は3月定例議会が開催される予定です。

くわしいことは町議会事務局までお問い合わせください。

☎0493 (54) 1511内線404

視察研修報告

総務建設常任委員会

長島 茂委員長

総務建設常任委員会は、平成20年11月10日、11日に視察研修をいたしましたので、ご報告申し上げます。

少子高齢化に伴い人口が減少していく中で、国は三位一体の改革を進めています。地方の財源が減少しているのも実情であります。自立して安定した行財政運営を持続できる「まちづくり」を目指す本町にとって新たな財源の確保は必須であり、安定した財源の確保と経費の削減で町民の利便性を高め町民福祉の向上を図ることが必要であります。

そこで、本委員会は乗合タクシーと企業誘致に積極的に取り組んでいる福島県南相馬市小高商工会並びに相馬市を視察いたしました。



福島県小高商工会

南相馬市は福島県の北東部に位置し、平成18年1月1日に小高町、原町市、鹿島町の1市2町が合併して誕生した人口71,271人の市で、この内旧小高町は南相馬市の南部に位置し人口約13,500人の町でした。まちづくりの基本理念を「ひと・まちを磨く、活かす、創る挑戦するところ」とし、子どもたちへ誇りを持って引き継ぐことができる持続可能なまちづくりに取り組んでおります。今回視察をした小高商工会が行なっている「おだかe-まちタクシー」は平成11年当時町内を走っていた民間路線バスの廃止に伴い、高齢者をはじめとする交通弱者の移動手段、中心商店街の空き店舗・集客力の低下やタクシー利用者率の低下等が大きな課題となりました。これら多くの課題や問題を背景に、いかに解消を図るか様々議論検討を重ねた結果、低料金で戸口から戸口へと送迎する乗合タクシー「おだかe-まちタクシー」が平成12年に提案され、試行錯誤の運転を重ね今日に至っております。なお、これまでの利用状況は目標年度を待たず、20万人の方に利用いただき達成することができました。との説明を受けました。

主な質疑として、  
 ● 運行開始から約8年が経過しているが、現在までの問題と課題、その対応について ● 委員会の構成メンバーと開催方法について ● 土日祝日の廃止の理由は ● 予約受付のオペレーターの体制と人件費は等、質疑を通し、本町で今後巡回バスを運行していく上において、大変参考となる意見交換となりました。

次に相馬市の視察概要について申し上げます。

相馬市は、人口約3万9千人の都市で平将門を祖とし、奥州平定に従軍した相馬氏が開いた城下町です。近年は重要港湾相馬港や全国屈指の規模を有する相馬中核工業団地を中心に製造品出荷額にて年々増加と発展をしているが、財政基盤は非常に厳しい現状にあります。これを克服するために、企業誘致推進部門と誘致企業サポート部門の設置を始めとする7つの具体的な取り組み項目を設定し、市長自ら優良企業の立地促進を図っているが、企業誘致での期待したほどの人口増、税収増に至っていない。また地元だけでは人材確保が出来ない、消費生活的な面での対応に苦慮等課題もあります。との説明を受けた後、質疑をいたしました。



福島県相馬市役所

● 進出企業の従業員で定住している人の割合は ● 企業誘致後の財政効果は ● 企業誘致に対する市民の評価は ● 立地企業における雇用の形態は ● 人材募集のなかで急な募集等が生じた時の対応は ● 誘致企業連絡協議会の活動内容は 等々活発な質疑がなされました。

これらを通して産業経済の発展を図るため、現在本町が最重要課題として企業誘致への取り組みに対し、大変参考となる実り多い研修となりました。

視察研修報告

教育福祉常任委員会

安孫子和子委員長

教育福祉常任委員会は、平成20年11月25日、26日に、環境教育の先進地である長野県安曇野市立豊科南小学校、また、芸術文化活動に取り組んでいる町民の作品の発表の場を検討していることから、先進地の長野県北安曇郡池田町立美術館を視察研修をいたしましたので、ご報告申し上げます。

はじめに、豊科南小学校のある安曇野市は、平成17年10月1日に5町村が合併し、市内には小学校10校、中学校7校、高等学校4校あり、豊科南小は、豊科郊外の田園に位置する児童数662人、市内で2番目の規模の小学校です。市内全小中学校で、それぞれの地域にあった環境教育が行なわれています。豊科南小の環境教育（学校ビオトープ）は、児童会で、「田鯉を飼うための池がほしい」との提案があったのがきっかけ。学校敷地内に日本列島をかたどった「日本列島の小川」、子どもたちの格好の遊び場、また昆虫の住み家「ふるさとの森」、農業基盤整備の残地を利用し、昔の小川を復元した「百石堰」の3か所で成っています。ビオトープの管理は、PTA、



長野県安曇野市立豊科南小学校

ボランティア、児童全員で行なっており、低学年は体験、中学年は知識の習得、高学年は生活に生かすという発展性を持たせたカリキュラムになっています。ビオトープは作るよりも、それを利用した活動を続けることが難しく、また受継ぐ活動が必要であるとのことです。同校では、地に足のついた環境教育「先生何とかして」ではなく、「先生こうしたい」という子どもを育てようと、子どもたちに主体性と意欲を持たせる指導に心をくだいております。ビオトープ保全のためにどうしたら良いのかという活動の中で「一人ではやらない、親や地域の方々も巻き込んでいく」。そして多くのことを学んでいるという。

まさにアメリカを代表する大教育者ジョン・デューイの言葉「子どもが太陽となり、その周囲の教育の諸々の営みが回転する」を彷彿させる豊科南小の環境教育の取り組みでありました。



長野県池田町立美術館

次に池田町立美術館は、平成6年4月に開館し、鉄筋コンクリート造り2階建て、延床面積約2,550㎡、建設事業費約15億9,700万円で、安曇野の四季や北アルプスを一望できる高台にあります。

建設時のコンセプトもあり、平成11年3月には、全国の色彩研究者や学生、主婦らでつくる「公共の色彩を考える会」主催、朝日新聞社後援から、公衆の目に触れる優れた色彩の建造物に送られる「公共の色彩賞・環境色彩十選」に選ばれています。しかしながら、集客力のアップや管理運営経費の削減に苦慮しているとのことです。建設の経緯は、昭和62年に小島孝子（46歳で逝去）の母親・小島浜子氏（池田町出身）から、美術館建設を条件に、700点余りの全遺作と全財産を寄付するとの申し出があり、また近隣の有志から、奥田郁太郎画伯の作品寄付の申し出もあり、当時計画されていた「あずみ野池田クラフトパーク」の中核施設として建設されました。

一方、吉見町においては、平成3年、4年に絵画「よしみの風景画」事業が行なわれ、寄贈分含め30点の所蔵数となっています。また町民による芸術文化活動も活発に行なわれており、常設展示場を望む声があります。視察を通し、町が検討している既存施設を利用しての常設展示場の方が、身近に創作作品にふれあえる場となると思われました。1日も早く所蔵の作品等の展示される場ができることを望むものであります。

# 議 会 日 誌

月 日	件 名
H20.9/13	平成20年度吉見中学校体育祭
15	第58回吉見町敬老会
20	平成20年度各小学校運動会（東第一、東第二、北小学校）
21	平成20年度各小学校運動会（南、西、西が丘小学校）
27	吉見町立保育園合同運動会
28	よしみ幼稚園運動会
28	吉見町商工会「会員研修会」
10/2	第18回老人クラブ連合会グラウンド・ゴルフ大会
5	第52回吉見町民体育祭
7	議会だより編集委員会
9	学校法人後藤学園総合体育祭
10	第14回東松山警察署管内地域安全大会及び東松山地区暴力排除推進大会
17	議会だより編集委員会
17	平成20年度町村議会議員研修会
17～18	平成20年度吉見町区長会研修
18	第8回よしみコスモスまつり開会式
27～28	平成20年度吉見町農業委員会県外研修

月 日	件 名
10/29	第13回比企老連協親善ゲートボール大会
30	教育委員歓送迎会
11/3	吉見町商工祭
3	第37回吉見町文化祭
3	第23回吉見音頭（踊）発表会
8	南公民館文化祭
10	大里比企広域農道整備事業推進協議会「平成20年度先進地視察」
16	吉見消防団消防特別点検
16	吉見消防団消防特別点検に伴う懇親会
19	第52回町村議会議長全国大会
23	平成20年度吉見農業祭
23	第26回西公民館まつり
25～26	教育福祉常任委員会視察研修
28	平成20年度吉見町戦没者追悼式
30	第8回町長杯争奪グラウンド・ゴルフ大会
30	第28回北公民館芸能発表会
12/2	議会運営委員会
7	4団体合同の交流会



## 編集後記

新年あけましておめでとうございます。  
 昨年はサブプライムローン問題に端を発して世界不況が始まり、日本においても派遣切りと就職内定取り消し等、先行きが見えず年越を迎えました。また今年は内外とも激動の一年が予想されますが、町が掲げています「みんなで創る、みどりと笑顔があふれるまち」を進めていき、町民のみなさまに幸せが訪れますことをお祈りいたします。今年もみなさまに親しまれる「議会だより」をめざして編集委員一同頑張っ  
 てまいりますので、よろしく願い申し上げます。

議会だより編集委員会  
 委員長 小柳 幸一郎  
 副委員長 柳谷 泉  
 委員 小宮 榮  
 委員 内野 正美  
 委員 荻野 勇  
 委員 尾崎 豊